令和２年度会報

会報第 21 号

令和 3 年 3 月 16 日発行

一般社団法人鹿児島県中小企業診断士協会

〒890-0046 鹿児島市西田 2 丁目 20 番 26 号 401

TEL・FAX 099-258-1871

e-mail ： sindankagoma@coda.ocn.ne.jp

《 目　次 》

（会員寄稿：掲載順不同、敬称略）

☆新春のご挨拶　・・・　会長　　田中　博道

☆ひとりひとりの思い　　・・・　月野木　勝彦

☆新型コロナと気候変動　・・・　久留　正成

☆新型コロナにどう向き合うか・・・　今別府　忍

☆新型コロナが日本社会に投げかけたこと・・・　奥　浩昭

☆診断士業務のお客様満足度について　・・・　久保　武志

☆コロナ禍？　・・・　浦島　和衛

☆年頭雑感　・・・　黒坂　和民

☆マイブーム到来！マイクロツーリズム　・・・　瀬戸口　晴子

新春のご挨拶

会長　田中　博道

旧年中の一般社団法人鹿児島県中小企業診断士協会へのご支援･ご協力に感謝申上げるとともに、遅ればせながら、心より新春をお慶び申し上げます。

当協会も関係機関をはじめ、中小企業者や小規模事業者からのより一層の信頼を得られるよう諸活動に積極的に取組んでいく所存です。会員および関係各位の今までにも増してのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍ではありますが、鹿児島市においては再開発・大型事業のプロジェクトが着々と進行しております。　主要４カ所の現時点での進行状況をお知らせします。

鹿児島中央駅前再開発事業　地上 24 階・地下 1 階

完成は令和 2 年 1 月予定でしたが、令和 3 年 4 月に一部開業し 6 月には開業

平成 31 年 2 月現在

完成予想図

ひとりひとりの思い

月　野　木　勝　彦

【　すばらしい日本人 - 緒方貞子さん　】

令和２年１月１８日に、緒方貞子さんに焦点を当てたＥＴＶ特集番組があった。

平成３年に、国連難民高等弁務官に着任し、３期１０年務めた。

イラク北部のクルド難民、ボスニア紛争のサラエボ難民に対して、人道支援を実行した。難民の定義には、①政治的迫害、②国境を超えること、という２つの要件があり、この要件に固執すれば、人道支援は不可能であるところ、緒方さんは、「現場に行く」という行動ありきの姿勢で、「人道支援という基本原則の根幹部分では同じではないか」と、人々を救済した。

祖父は、犬養毅である。そして、満州事変以降を研究した国際政治学者である。類まれなるリーダーシップを発揮し度胸もあった。ずばずば質問し、正論を吐くとともに、「やらなきゃダメでしょ」と、チャーミングな面もあり、親近感があったという。

「人間の安全保障」を訴え、根本原因の解決の必要性を説いた。

「日本のあるべき姿としては、日本が、世界全体の中にいるということであり、完全な自立は、完全な相互依存である。本当のナショナリストは、本当のインターナショナリストである」と説いている。私たちは利己的な世界に住んでおり、人間としての普通の感覚である分かち合うという共感能力の喪失に警鐘を鳴らした。

なお、米タイムス誌は、過去１００年分の「今年の女性」を発表し、平成７年度を代表する女性として、緒方貞子さんを挙げた、という新聞記事にも出会った。

【　一隅を照らす者は国の宝なり　】

テレビや本に触れて、人ひとりの生き方に尊敬の念を禁じえない場面に遭遇することが多くある。

自らも若いときに不良少年であった住職が、不登校となったり不良化したりした少年少女をお寺に住まわせ、彼らと食事を共にして、学校に復帰させたり、父親や母親との関係を回復させたりする。癌で亡くなったその住職を、住職にお世話になり今ではしっかりした社会人に成長した彼らが寄ってきて弔った。

ある医師は、高齢にもかかわらず、在宅医療の訪問を続け、患者の終末に寄り添う。患者の庭の柿が熟す時期を語らったりして、穏やかに患者に接する。

服役者の再就職を支援するために、企業の賛同を取り付けながら就職雑誌を発行して刑務所に届ける、自らも不良化した経験を持つ女性がある。

宮大工の技術の継承のため、塾を開設して、寝食を共にして、それぞれの独立を支援する。不器用なものが最終的には本物になるらしい。

思い起こせば、切りがないが、まさに、一隅を照らす者は国の宝である。私自身を振り返ると、何とも恥ずかしい限りではある。

【　共に是れ凡夫　】

人生について、どのように受け取って生きるか、問題です。哲学とは、時間と存在の認識について考えることと教えられます。また、宗教生活とは、神や仏のような神秘なるものに信を置いて、日常具体的な精神生活を充実安定させるものと考えます。

最近では、石原慎太郎「法華経　現代語訳」や高森顕徹「歎異抄をひらく」などの本を読む機会がありましたが、率直に言って、平生の生活において、直ちに踏むべき思いのあり方、行いのあり方として取り入れられるべき、精神生活を支える核心に迫るものであろうかと、疑問が湧いてくるのです。これは、もちろん、私自身の浅学による稚拙で恥ずかしい疑問ではありますが、例えば、悟れる者の愚鈍な衆生の教導という立ち位置の次元の相違が底流にあり、また、修行も日常の具体的な生活を離れて座禅を続けることが説かれているのではないか、さらには、説かれている事柄も概念的、抽象的で理解しにくいものと思わされるのです。

学生時代に勉強した黒上正一郎「聖徳太子の信仰思想と日本文化創業」の中で、聖徳太子が、「共に是れ凡夫」という現実を直視され、それぞれが我に執着して相争うを避け、「和を以って貴しとなす」と説かれ、彼の苦悩を自己の苦悩とし、彼我の対立から離れて自他融合の内的平等を重んぜられた、というような内容の叙述がありました。宗教生活の取組みも、やはり、抽象的概念的な学習ではなく、聖徳太子が説かれたように、具体的な日常生活における心と行いの両面に実地に取り組むという観点が核心かと思わされます。ここにおいて、「共に是れ凡夫」の基礎にある「一切衆生悉有仏性（いっさいしゅじょうしつゆうぶっしょう）」ということが、自然にそのまま受け取れるところであります。

「あたらしい道」の亡松木草垣女史は、我らが正義だ、君たちは間違っているというような認識から離れることを教えていました。人の「あら」が見えるうちは、自分にも同じようなところがあると説かれ、高慢を戒められ、自分を叩いて通ることを教えていました。

西郷隆盛は、見た夢は、自分の内面の発露するところであるから、よくよく修養するようにと説かれました。

自分自身の反省を怠りなく、皆と共に生きる、ということが、具体的な現実の精神生活の要と思わされます。

短　歌　（拙歌 三首）

世の人や忘るまじきは還らざる若き特攻のかなしきいのち

国破れ妻子（つまこ）とともに責めを負ひ命断ちにしもののふあはれ

むらさきの桔梗の花は庭にまた一輪増えて二輪となれり

鶴丸城御楼門（ごろうもん）・御角櫓（おすみやぐら）復元事業

「かごしま国体」が開催される令和２年３月完成　　武家門として国内最大級

平成 31 年２月現在

完成予想図

新型コロナと気候変動

久留　正成

2020 年は、新型コロナに振り回された年でした。
2021 年は、新型コロナが落ち着き、持続可能な社会づくりが進むことを期待します。

気候変動問題は、これまでの経済偏重の産業・生活スタイルの結果です。
新型コロナも、人類が森林を破壊して奥深く踏み込んだ結果と言われています。

基本的な要因は同じであり、これまでの産業・生活スタイルなど改めて、持続可能な社会づくりが求められています。

新型コロナで、体温が 4－5℃上がると、人間は生きていけません。
地球も、このまま 4-5℃上がると、人類は地球に住めません。
産業革命前に比べ、2℃以内、できれば 1.5℃以内に抑えたい。

2050 年までにカーボンニュートラルは必須です。
今や温室効果ガスの緩和だけでなく、既にその影響は世界的に異常気象・自然災害等となって現れ、いかに予防・適応するかの時代になっています。
今のままでは、もっと深刻な異常気象・自然災害が予測されます。

日本では、菅総理大臣になり、2050 年カーボン実質ゼロ宣言し、アメリカではバイデン新大統領がパリ協定に復帰しました。

日本は 1997 年京都議定書で盛り上がって、当時は省エネやソーラーパネルでは世界一と自負していたのが、25 年の間に世界から一周遅れになりました。
新型コロナからのグリーンリカバリが言われ、グリーン成長戦略も出ています。

今や世界は、TCFD、SBT、RE100、ESG 投資、環境金融、SDGｓ、炭素税、排出権取引などが、当たり前になっています。
脱炭素社会・循環経済・分散型社会への移行が叫ばれています。
是非、国をあげてグリーン成長戦略を推進していけたらと思います。

本年が、皆様がご健勝で良い年であることを、祈念いたします。

新型コロナにどう向き合うか

今別府　忍

この一年間、世界は新型コロナ感染症への対応に追われました。国内では新型コロナを封じ込めるべきか、経済を回すべきかで論争となりました。医療の専門家や野党、およびマスコミの多くは新型コロナの封じ込めを主張し、経済学者や与党の政治家の多くは経済との両立を目指すべきだとしています。世論は、いまのところ経済を止めてでも封じ込めを優先すべきという声が優勢のようです。

疫学の専門家が新型コロナの死者数の最小化を訴えるのはある意味当然で、専門家としての存在意義もそこにあるでしょう。しかし、新型コロナの死者を抑えた結果、それ以上に他の病気での死者数や失業による自殺者数が増えては意味がありません。政治家にはコロナで失う命と自殺で失う命のバランスのとれた判断が求められます。新型コロナの問題は、全体最適とは何かを学ぶ生きた教材といえます。

昨年 4 月の緊急事態宣言の頃には、ウイルスの実態がつかめていなかったため経済を止めたのは予防的観点で正当化できました。しかし、1 年が経過しウイルスの特性や影響が概ね明らかになった現在、ふたたび緊急事態宣言が出され、さらに 1 ヵ月延長されました。これは正当化できるのでしょうか。他に方法はなかったのでしょうか。難しいところです。

新型コロナの問題は、一言でいえば、国全体の死者数の最適化問題です。最適化ではなく最小化ではないかと思われる方もいるでしょう。もし最小化であれば、交通事故死を減らすため自動車を禁止すべき、さらには外出も禁止すべきなどと、経済どころかあらゆる行動を制限すべきという結論になるでしょう。最適化というのは、生活の質や対策費等を勘案した上で受け入れるべき一定の死者数を目指すということです。ところが政府は、政策の目的変数は何かを掲示できていないようにうかがえます。目的変数は「国全体の死者数」と明示していれば政策のブレもより少なかったのではないでしょうか。

一方で。医療崩壊が起これば、死ななくてすむ患者が死ぬことになります。そうならないようにするためには医療サービスの確保が必要です。ここでは制約理論が有効です。制約理論とは、「組織やシステムでは、仕事の流れを滞らせる制約（ボトルネック）の改善に集中すれば全体最適化が実現できる」というものです。新型コロナ対策における制約は、受け入れ可能な病床の数です。日本は先進国では人口当たり病床数がトップクラスであるにもかかわらず、諸般の事情で不足しています。ここを手当てすべきというのが制約理論から導かれる結論です。

少し話が逸れますが、「統計学が最強の学問である」の著者である西内啓氏は、新型コロナ対策の難しさを次のようにツイートしています。

西内啓 Hiromu Nishiuchi　@philomyu
1 月 1 日
もし致命率が10分の1くらいならインフルエンザくらい気をつける感じだったろうし、逆に 10 倍のオーダーなら封じ込めやそのための緊急支出も合意形成しやすかっただろう。さらにリソースかけまくればギリ助かることもあるってことが医療現場への過負荷と、コロナ以外の患者さんへのリスクになってそう。
学生時代にパンデミックの概念学んだ際には「すごい感染力と致命率でバタバタと人が亡くなっていく危機的状況」みたいなシナリオがよく描写されていて、たぶん COVID-19 みたいなタチの悪さは専門家的にもけっこうな想定外だったのではないかという気がする。

確かに、新型コロナのタチの悪さは、その影響が中途半端なところにありそうです。さらに年齢によって重症化率が大きく異なる点も高齢者と若者との意識の分断を進め、対応を難しくしているように思えます。
さて、1 月 19 日に発表された厚労省の人口動態統計速報によると、昨年 1～11 月の死者は約 125 万人で、前年同期比で約 1 万 5000 人減少しました。第 3 波で 12 月に新型コロナの死者が急増したものの、年間を通しての死者数は 11 年ぶりに前年を下回ったとみられます。

これとは別に超過死亡という指標があります。国民の年齢構成や過去の原因別死亡数などをもとにその年の死亡数を推定し、実際の死亡数との差を示す数値です。感染症が流行すればこの数値はプラスとなります。マイナスになることは通常ありません。昨年の結果は、世界各国が新型コロナの影響で多くの超過死亡数を記録した一方で、日本はマイナスだったと報じられました。つまり新型コロナや自殺等で増加した死亡数より、肺炎など他の感染症や交通事故等による死者の減少分の方が大きかったのです。これは、解釈次第では必要以上に経済を止めたということになります。

マスコミは連日、新型コロナの恐怖を伝えています。家にこもってニュースやワイドショーばかりみていると、正常な人ですらコロナに過剰な恐怖心を持つでしょう。マスコミには超過死亡数などの客観的な情報も併せて報じてほしいものです。中小企業診断士としては、多面的な情報収集を心がけつつ冷静に対処していきたいと感じています。

以上

新型コロナが日本社会に投げかけたこと

奥　浩昭

新しい年を迎えましたが、世界は未だに終着点の見えないコロナ禍の中にいます。医療従事者の方々の精力的な業務遂行に感謝するとともに、負の影響を受けておられる民間企業の経営者とその従業員の方々にお見舞い申し上げます。

新型コロナは、日本社会の問題点を浮き彫りにしました。政府・地方自治体や社会の動きに対してメディアや評論家がいろいろと意見しています。そのような中で人々の格差がどんどんと広がっています。大事なことは、汗して頑張る人が報われない世の中にしてはいけないということです。

コロナ禍での課題は、我々が企業を経営診断する時に遭遇するものに類似しています。中小企業診断士として日本国を企業に置き換えて考察してみました。

１．安全は何よりも優先する

基本的な考えは安全が最優先であり、この考えのもとに経済活動をどのように進めていくかの視点が必要です。そのためには、コロナ禍の影響度と発生頻度を測る　“ものさし”　をつくり、これを見える化することで日本国民に行動を促すというわかりやすくてシンプルなしくみで最新の測定値や情報を開示することが重要です。インターネットは使えない人もいますので、テレビやラジオで常時開示する環境をつくることで、政府・地方自治体の方針と国民のベクトルが一致し一体感が醸成されます。

２．組織体制の構築および権限と責任の一致

国民の安全確保を目標にした組織体制を速やかに構築し、最高責任者はリーダーシップを発揮しなければなりません。

また、権限と責任が一致しないと言いっぱなしになり誰もついてきません。非常事態宣言を発する権利とそれに従う方々への補償の責任を同時に負わなければなりません。同時に政府・地方自治体のリーダーが連結ピンの役目を果たし強固な組織体制にすることが重要です。

３．ＰＤＣＡサイクルを回す

ＰＤＣＡサイクルを回すことで、学習能力が高まり初めて遭遇することでも時間とともに習熟度が増し、スパイラルアップすることで対策に磨きがかかってきます。そのためには定性的でなく定量的に物事を評価し、次の行動へ速やかに移行することが必要です。この基本となるものが三現主義（現場・現物・現実）および要因分析と対策立案を行うためのロジカルシンキング力であり、事実に基づいた行動で粘り強く解決していくことが重要です。

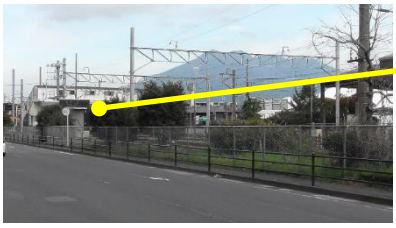
４．国内生産品と海外生産品の区分

内外製区分の考え方を応用し、国内生産すべきものを品質・コスト・納期で評価し決める必要があります。今回は、マスク、消毒液、医療用ガウン等の納期の部分で問題になりました。リスクマネジメントの視点より今後の方向性が必要です。

いろいろと考察は尽きませんが、コロナ禍に立ち向かう上での基本は、豊かな社会を後世に残すという強い志をもって個々人が主体的に行動することが重要です。これは、“世のため、人のため、自分のため、そして、子孫のために”　をモットーに持続可能な社会を築くために国連が掲げたＳＤＧｓにもつながります。

世界が一体になり一刻も早いコロナ禍からの脱却を願い、今年も経営支援を通じて少しでも企業の成長発展に貢献したいと思っています。

鹿児島駅周辺再開発　令和４年３月に完成予定。



平成 31 年 2 月現在

完成予想図

令和３年３月現状（駅舎・電舎はほぼ完成しています）

診断士業務のお客様満足度について

会員　久保武志

明けましておめでとうございます。2021 年もよろしくお願いいたします。
昨年は、コロナ禍の中で、急な仕事の延期やキャンセル等、思うように活動できなかったり、リモート会議の機会が急増したりと、例年経験しない環境の中で、あっという間に 1 年が過ぎていきました。早く事態収束し、「正常」な日常に戻ることを願うばかりです。

私の個人事務所では、2015 年の開業以来、診断士業務の他に、ISO 審査業務、エコアクション 21 関連の環境コンサル、社労士業務、不動産管理業務などと少しずつ業務を拡大しつつ、暫く私一人で対応してきました。しかしながら、次第に事務処理に振り回される場面も多くなり、最近になって事務員さんを新たに一人雇用して、二名体制で対応しているところです。事務所の運営的には、大分安定してきましたので、これからは診断士業務の品質を高め、「お客様満足度」を向上させる取り組みに注力したいと考えております。

さて、診断士業務の「お客様満足度」については、他の先生の皆さまは、日ごろどのような心掛けや取り組みをされておられるでしょうか？　診断士としての通知表があるわけでもないし、顧客アンケートを取っているわけでもありません。自分の実施した診断士業務のお客様満足度はなかなか把握しづらいですし、他の診断士の先生との比較も難しいと思います。私も、診断士業務以外の業務と比較して、診断士業務としてのお客様満足度が分かりにくい場面によく直面します。また、定型業務とは異なる診断士業務ですから、診断士とお客様（クライアント）との相性、性格、環境、文化の違いなどもあり、お互いの認識違いもあるかもしれません。例えば、良かれと思ってアドバイスしたことが、結果的に、変にダメ出しとして受け取られ、相手の反感を買って上手くいかなくなることもあると思います。

手前味噌で恐縮ですが、開業以来５年経過し、診断士業務以外にも、ISO 審査業務や環境コンサルなど対応している中で、ありがたいことにお客様から、「審査だけではなく、コンサルで入ってほしい」とか、「次の機会も、久保さんに来てほしい」とか言っていただける機会が徐々に増えてまいりました。審査ではコンサル業務が利益相反行為となることがあり、抵触する場合は、事情を説明し、丁重にお断りするか、他の先生を紹介するのですが、お客様からそのように言っていただけること自体は、素直にありがたいことだと受け止めています。開業以来、試行錯誤を繰り返しながら進めて参りましたが、今一度振り返ると、次のような取り組みが、少しずつ評価いただけているのかなと、診断士業務の場面でも参考にすることがあります。

取り組み例①）　相手（お客様、クライアント）は、その業界では、自分（診断士）より経験を積み、苦労もされているわけで、まずは、これまで経験されたことをきちんと情報共有させて頂きます。その中で、相手の良いところ（強み）を多く抽出するように努めます。その際、

自分（診断士）は、「上からの目線」ではなく、相手から勉強させて頂くスタンスで臨みます（実際、勉強になります)。最初から、決めつけやダメ出しととられるような発言をしないよう心掛けます。例えば、競合者や他業界での事例を紹介、引き合いにして、相手の顔色や反応を見たりしつつ、直接の批判ととられないよう、強みを中心に議論を深掘りするようにしています。

取り組み例②）　相手（お客様、クライアント）は、常日頃、経営や事業運営を行いつつも問題や課題を抱え、孤独感の中で頑張っておられるケースが多いように感じています。診断士として、当たり前のことですが、守秘義務については、十分に順守、配慮し、最初に口頭で説明して、安心感を持っていただいた上で、インタビューを行うよう、気を付けています。

取り組み例③）　診断士は、問題や課題を抱えている企業に対して出向くことが多いと思いますが、すぐに業績改善を図れるような、いわば「魔法の杖」は存在しません。とにかく少しずつでも、理由や原因について議論しながら、本質的な問題や課題を浮き彫りにできるよう、相手と同じ立場で一緒に考えたり、悩んだりするように努めています。

取り組み例④）　相手に訪問する時間は限られます。訪問前の事前調査や資料作成では、できる限り時間を作って、自分（診断士）としての本気度をお伝えできるように努めています。こちらが本気で臨めば、相手もきちんと向き合って頂ける場合が多いと思います。なお、診断士として、経験を積んでいけば、それなりに知識やノウハウは蓄積されてきますので、私の場合、最初はかなり時間がかかっていた事前準備でしたが、今ではかなり効率化できているのかな、と思います。

以上は、私の取り組み事例として掲げました。コンサルティングスタイルは、診断士の先生毎に異なりますので、正解はないと思います。あくまで参考例と捉えて頂ければ幸いです。また、相手（お客様）に対して、過度に遜る（へりくだる）必要もないと思います。いかに効率的に問題点や課題を浮き彫りにし、最善の改善策、具体的施策の立案を図るか、を念頭に工夫していくことが重要だと思います。

　さて、診断士業務の「お客様満足度」の話題に戻りますが、経営改善計画策定支援や、診断・助言を行った際に、その中で立案した施策の実行性をみるようにしています。診断士として、相手（お客様、クライアント）と一緒に悩んで設定した施策ですが、数か月後に訪問した際に、実施されていなければ、自分の行ったアドバイスは、相手に響いていなかったのだ、と反省しています。私としてもかなり凹む場面ですが、施策の成否の前に、実行すらされていない計画は、「絵に描いた餅」でしかありません。時間と費用の無駄だったかもしれません。そうならないよう、自分自身の診断士業務にも工夫・改善を加えつつ、お客様満足度の向上に繋げていきたいと考えています。中小企業診断士として開業６年目を迎えた今年ですが、今後とも、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。　以上

コロナ禍？

浦島和衛

数年前に引退時期を 75 歳にしようと書いた覚えがあるが、2020 年はコロナのおかげで 70 歳にして図らずも引退同然の生活を味わうことになった（例年 50 回ほどあった打合せは 30 回、受講した講演も 100 回から 30 回など）。減らなかった仕事は環境マネジメントシステム（EA21、KES、鹿児島市環境管理事業所）の審査だけ（年間 30 日程度）。

一方で週 1 回（木曜日）の年寄サッカーの練習（参加者は 65-90 歳）は毎回 20 人参加していたのが 30 人を超えるようになった。

（皆、動けるところが少なくなって困っている？参加者は毎回検温しており、屋外ということもあって幸い 1 年間異常者は出ていない（但し、癌治療者は 2 人））

試合の方は県内のリーグ戦は夏以降に日程をズラして何とか消化したが、県外での試合は全て中止になり、年間試合数は 3 割減程度、遠征費用はゼロになった。当然飲み会も大幅減。ステイホームが常態となった。

そこで少し早いが身辺整理を始めることを考えた。しかし、断捨離は難しい。本を減らすつもりが、話題に関する本を新たに購入したり、積読になっていた本を漁ってしまった。

結論：COVID19 は早く 2 類感染症から 5 類感染症に見直すべきだが、1 年という期限を延長してしまったのであと 1 年は変えられないらしい（日本ではインフルエンザ（5 類）は毎年最盛期で数十万人/週の感染に対し、COVID19 は数十万人/年なのにどうして？）。これでワクチンの有効性が確認できる？

「2050 年 CO2 ネット排出量ゼロ」という目標が出された。努力は必要だろうが現実的には無理（技術もさることながら財源をどうするの）。化石燃料（元はと言えば生物（自然物）の死骸）は残さざるを得ない。温暖化も悪いことばかりではないはず。

MMT（現代貨幣理論）が主流派経済学を駆逐する。コロナ禍への対応、災害予防・復旧、社会的共通資本の充実のためにはインフレ率が許す限り財政出動（プライマリーバランスは赤字のまま）が求められる。セットでジョブ・ギャランティも導入する？でも、国家・自治体は単年度予算で縛られてた期間が長いからどうしても赤字を避けるイメージを払拭するのは難しい。複式簿記で資産が残るイメージが理解されないので子供の世代に負担を残すと言われると後ろめたさから逃れられない。

まさかの感染症騒ぎにこれを知らずに亡くなった同級生たちに「良かったね」と言うべきか、冥途への土産話ができたと喜ぶべきかなんとも難しい。私の年代は逃げ切れたともいえるが、これからの後輩たちに何を残せるんだろう、と思案投げ首の毎日である。

年頭雑感

黒坂　和民

令和 3 年を迎え新型コロナの感染者が全世界で 1 億人に迫り、死者数も 200 万人を超える勢いで広がりを見せています。

改めて昨年を振り返ると、昨年はコロナで始まりコロナで終わった一年でした。コロナ騒動下に於いて国内の主だった出来事としては、多くの国民が待望したオリンピック、パラリンピックが延期されたことが特筆されます。政治面では、歴代最長政権を誇った安倍総理が健康上の理由から任期途中で辞任し、菅政権が発足しました。又、昨年の梅雨は九州地方を中心に記録的豪雨をもたらし、球磨川が氾濫するなど隣県熊本は多大の被害を受けました。一連の災害により全国で 84 人の方が犠牲となっています。世界的に気候変動が顕著となり災害が大型化している証左です。

4 月に 7 都府県に緊急事態宣言が発令され、スポーツ、イベント開催が相次ぎ中止される中で注目されたニュースは、大阪なおみ選手の 2 回目の全米オープン制覇です。又、個人的関心事としては、日本競馬会で快挙が相次ぎました。牝馬、牡馬共に無敗の 3 冠馬が誕生、5 歳牝馬（アーモンドアイ）が史上初のＧ1 レース 9 勝を達成し引退しました。

世界の話題では、3 月 11 日にＷＨＯがパンデミック宣言を表明、各国でロックダウンや入出国規制が実行されました。一方、香港では「一国二制度」を巡り大規模な抗議デモが繰り返されています。又、米国では大統領選挙が行われトランプ退陣が決定しましたが、敗戦を認めないトランプ大統領が「不正が行われた」「選挙は大差で自分が勝った」等と虚為発言の繰り返しで支持者を扇動した結果、米国民主主義の象徴ともいうべき連邦議会議事堂が襲撃されました。

世界のリーダーたるべきアメリカ合衆国が、分断を煽るトランプ政権の誕生で分裂の危機に瀕しています。即ち、一連の言動を疑わないトランプ支持者が 7,400 万人も存在するからです。

改めてトランプ大統領の誕生から退任までを振り返ると、「アメリカファースト」と叫んで最高権力者の地位を獲得しましたが、本性は「トランプファースト」でした。就任早々、国際的枠組みであるパリ協定、ＷＨＯから離脱し、環境問題に無関心であることを表明、世界の主権国としての信頼を失いました。又、北朝鮮との対話を実現しましたが、結果的に腹を見透かされただけで全く成果は得られませんでした。実績とされる法人税の大幅減税や不法移民政策等は、格差と分断を広めました。又、米中間の貿易摩擦を激化させた関税引上げは、自国の農民や消費者に対し不利益を与えました。一方、環境規制緩和政策に拠る石油関連業界等の雇用創出で失業率が低下、経済面が比較的良好であった点が救いです。

極め付きはコロナ問題です、世界で突出した感染拡大と死者が続出している現実を軽視し、先頭に立ち真剣に向き合おうとしなかった姿勢が、結果的に再選を阻まれた最大要因となりました。自分に都合の悪いニュースは全て「偽り」だと強弁し、平気で嘘をついて憚らない人間性に驚かされます。第 45 代は米国憲政史上、最悪の大統領として歴史に記憶される事でしょう。

コロナ禍の影響で世界経済も打撃を被りました。コロナ終息後の経済構造は大きな変革が求められています。デジタル化が進み経済構造は労働的利益から資本的利益への転換が見込まれています。又、経済基盤は無形資産への投資が急増し、グーグル、フエィスブック等のデジタル産業が核となります。時間の短縮、利便性の向上が追及されます。資本無き資本主義時代の登場等、資本主義の多様化が進みます。この結果、不平等が広がり格差社会に拠る分断が世界中で加速すると言われます。一方、貧困からの脱出には経済成長しかありません。

足下の経済を見ると実体経済と乖離して株価が上昇しています。ワクチン開発など、コロナ後の期待相場と言えます。又、企業倒産も 30 年ぶりに 8,000 件を下回るなど減少しています。公的支援が奏功した結果ですが、今後、コロナ関連倒産の増加が予想されます。

社会の関心事も大きく変容しました。「鬼滅の刃」劇場版、「ポーの一族」宝塚上演等、コミックが大ヒットしています。この背景は現実社会への失望感から異次元世界への逃避だと思慮します。

鹿児島県のニュースとしては、史上最も若い新人の知事、市長が誕生しました。希望の持てる郷土づくりが期待されます。又、今年 100 周年を迎える企業が県内に 22 社、九州、沖縄では 258 社存在すると公表されていますが、会社の寿命は短くなっていると感じます。

今年の最優先課題は「経済」「民主主義」「国際協調」の三つが重点となっています。経済再生のキーワードはＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）となります。今年が再起動の年となることを願っています。

日本でもワクチン接種開始が間近ですが、ここに至り感染力の強いと言われる変異種のウイルスが発生しました。オリンピック開催にも黄信号が灯されていますが、希望を失わず前進あるのみです。

末筆ながら、新型コロナウイルスとの戦いは続きますが、同士の皆様の健康と活躍を祈念申し上げます。本年も宜しくお願いします。

マイブーム到来！マイクロツーリズム

瀬戸口 晴子

収束の見えない**コロナ禍の2020年末**、私(達)の生活はスッカリ **“New Normal”**に慣れてしまいました。前年の会報で、「ライフワークが出来ました♪」と嬉々として綴った**『Deep天文館☆路地裏探検隊』**も、その後まもなく 活動休止に追い込まれました。

1年前に危惧していた「“再開発”や“世代交代”による変化」より何倍ものスピードで、天文館の街並・人波・雰囲気・景色は、突然 ガラリと変わってしまいました。

観光立県 鹿児島にとって、大きな魅力である「食との出遭い」・「人とのふれ合い」を支えてきた南**九州最大の歓楽街『天文館』**が再び繁栄することを願いながら、今夜も **一人呑み実践中**の矢先・・・。

【マイクロツーリズムとの出会い】

ワーカホリック氣味の私にとって、氣分転換＆パワーアップの源泉である「旅」が出来なくなり、ストレスが貯まりまくっていた秋、何氣なくめくった広報紙で、**鹿児島市の支援事業『マイクロツーリズム モニターツアー』**（市民対象の市内ツアー）に出遭いました。

これまで、旅と言えば、「海の向こうの異郷」や「大都市での非日常体験」に惹かれ、ドライブと言えば、「郊外の大自然」や「ご当地グルメ」を目的に出掛けてきただけに、鹿児島市内＝**“自分が住んでいる地元” を旅する**、という発想は、意外で新鮮でした。

軽い氣持ちで最初に参加したのが、**「大木公彦先生と巡る 世界遺産・ジオパーク バスツアー」**。鹿児島大学 名誉教授（地質学）の大木先生と、復元まもない「鹿児島城 御楼門」や「世界文化遺産 関吉の疎水溝」・「仙巌園」・「尚古集成館」・「石橋記念公園」を巡るツアーは、まさに某局の人気番組「ブラタモリ」的**「ブラキミヒコ」**。（←実際、鹿児島ロケ回でご出演された由） 即ハマりました！

どこも、来たことがある場所ばかりなのに、専門家の解説を伺いながら見渡す景観や地層や遺跡には、新たな発見や驚きがあり、ついメモ魔に。初めて訪れた「旧島津氏玉里邸庭園」（鹿児島女子高校の一角）は、ちょうど年に一度の公開日で、まさか市内に、風情ある龍灯籠の池や紅葉が美しい大名庭園があったことに（お恥ずかしながら、今更ながら）驚きました。

すっかり虜になり次から次へと **計5企画**に参加しました。個人で行ける場所も多いので、以下、各ツアーの見どころをご紹介いたします。機会がありましたら是非、足を延ばしてみてください！

【 SHIMADZU－MANIA 1DAY TOUR 】

その名も「島津マニア ワンデーツアー」と題された企画は、仙巌園 学芸員で研究者でもある岩川拓夫氏のユーモアあふれるナビで、「南北朝時代から 800 年治めた島津氏 一族」の**居城の変遷**と歴史的背景を魅力たっぷりに熱弁いただきました。

鹿児島城＝城山エリアと思い込んでいたら、時代ごとに転々としていたそうで、1354年頃、南北朝動乱時代の『東福寺城』は、臨海にそびえる「多賀山」だった由。多賀山公園といえば、夜桜の穴場スポットという印象で、東郷元帥像まで登って拝んで満足していたのですが、実はその奥まで公園は続いており、登りつめた北端が本丸跡でした。崖下を見下ろせば、鹿児島市内を一望。懐かしき**母校 清水中学校**が見えた！と思ったら、そこが次の目的地、14 世紀後期のお城「清水城」跡でした。（ビックリ） さらに、1550 年に 15 代貴久が築いた内城の跡に大龍寺、現在の大龍小学校が。

☆ ツアーポイント ☆

① 東福寺城 跡（多賀山公園）
② 清水城 跡（清水中学校 裏山）
③ 内城 跡（大龍小学校）
④ 鶴丸城 跡（鹿児島城） ～本丸跡・御楼門
⑤ 探勝園（元 二の丸庭園） ～三公銅像・ニコライ二世 来鹿記念碑
⑥ 名勝 仙巌園（磯庭園） ～御殿・蹴鞠
⑥ 福昌寺 跡（島津家歴代墓地）

仙巌園では、平安貴族の球技**「蹴鞠」を初体験**。鹿革を縫い合わせた中空の鞠は、何処へ飛んでいくかコントロール不能、鞠を落とさずに 10人でラリーを続けるのはナカナカに**至難の技**でした。

最後の「福昌寺跡」、玉龍高校の裏手にあることは昔から知っていたはずなのに、何故、この歳になるまで一度も訪れなかったのか、猛省しました。想像していた10倍以上の広さで、夫妻揃って並んだ膨大な歴代領主のお墓は 造形的にも美しく、**飼い犬や猫のお墓(！)** まであり驚きました。

早朝の雨を含んだ鬱蒼とした樹々や苔の緑に、西に傾いた柔らかい陽射しが幽玄な 癒やしの異次元空間を満喫しました。 そう、訪れるなら、**雨上がりの夕方**がオススメです。

【八木主水佑元信の功績が残る 鹿追原魑魅峠を訪ねる旅】

まず、難読文字だらけのツアータイトル「やぎ もんどのすけ もとのぶ」・「かおうばる すだまとうげ」に、知的好奇心が刺激されました。聞いたことも見たことも無い妖しげな峠の名前は、魑魅魍魎的な字面だけ見ると、まるで**京都郊外のパワスポ旅**かのよう。 が、果たして、ツアー行程は **雨靴・ヘルメット・ヘッドライト必携**！？という 私の想像を大きく超えた衝撃的な体験でした。

錫山鉱山遺構研究の第一人者である 鹿大名誉教授 **志賀美英先生**（鉱床学）の案内と解説で訪れた「錫山地区」。 その名の通り、かつてここでは大量の「錫」が採掘され、精錬工場まであったとは・・・山奥にヤブを掻き分けて踏み入って目撃した 現存する錫鉱山跡の遺構の存在感に驚かされました。産業遺産として、文化財に登録されても不思議ではない価値を感じさせる遺構群ながら、観光ガイドブックにも載っていないし、市民の多くが**存在すら知らない**とはー！

江戸時代の山師達の暮らした屋敷群跡や古道、錫鉱床を発見した八木主水佑元信の墓所や錫鉱山発見の石碑、中でも特に印象的だったのは、通常は鍵をかけて閉鎖されている**御手山湧上り鉱山**跡。暗くぬかるんだ坑道を中腰で進んで辿り着いた壮観な空間は、私の僅かな経験だけで言えば、「トルコの**カッパドキア**」・「シラクサのディオニュソスの耳」を連想させるほど圧倒的な迫力でした。生々しいノミ跡の残る鉱山跡は 余りにも巨大で、とてもカメラには収まりきれず。。。

東南アジア産の安い錫が出回りだす戦後まで稼働していたという「稚児ヶ滝選鉱精錬所」跡の遺構やトロッコ跡を見るにつけ、当時このエリアに 300 人ほどの労働者が住んでいたと聞くにつけ、かつて長崎県「軍艦島」に降りたった時や「炭坑節」発祥の福岡県「田川市石炭・歴史博物館」を訪れた時と同じく、思わず往時に思いを馳せ、「つわものどもの ゆめのあと・・・」とつぶやいてしまいました。

【名も無き石工が架けた石橋と薩摩の武士が生きた町『日本遺産　喜入の旧麓』を歩く旅】

旧薩摩藩領内に建設された石橋水路橋を研究されている第一工業大学自然環境工学科の**本田泰寛准教授**の丁寧な解説で、日本遺産に登録された「**喜入旧麓武家屋敷**」に残る石造りの水路や、喜入地区・慈眼寺公園に残る明治期から昭和初期にかけて架けられた様々な石橋を巡りました。

名前の響きだけでもゆかしい喜入の「貝底橋」・「大正(昭)橋」・「香梅ケ淵橋」・「玉繁寺橋」・「二重橋」。**香梅ケ淵**の深い青碧の美しさにもウットリ。 ツアー後半、久々に訪れた**慈眼寺公園**は、前夜の雨のお蔭で森の緑が鮮やかで、苔むした橋たち～「洗心橋」・「稲荷橋」・「名無し橋」・「遊仙橋」は、かつて この地にあった大寺院の繁栄を物語っていました。

鹿児島の石橋といえば、かの有名な**岩永三五郎による「五大石橋」**のイメージしかありませんでしたが、それぞれの村の地形に合わせ、地形を活かし、そこで暮らす村人の利便性のために架けられた小さな石橋たちの形や佇まいは、それぞれに美しく。往来する当時の姿すら想像できる存在感で、ロマンティックなツアータイトル以上の見ごたえに感興をそそられました。

【そして、鹿児島　再発見！】

大学進学先の「東京文京区小日向」・単身赴任先の「福岡天神」の数年間以外、長らく住んでいる鹿児島市なのに、**平成の大合併**で「吉田」・「郡元」・「松元」・「喜入」エリアが増えたこともあって、地元の歴史や地勢の知識の浅さを思い知らされ 鹿児島市の素晴らしさを再発見☆することが出来ました。県外に観光に行けば、その地の歴史や地理に興味を抱いて調べるものの、地元については今さら興味も沸かず、高校生時の知識から大して成長していなかった迂闊な自分に氣がつきました。

今回の「マイクロツーリズム・バスツアー」では、**新型コロナウィルス感染拡大防止対策**の徹底で、大型バスの座席も贅沢に間隔を空けて10～15人の少人数定員催行のため、おそらくは 1人1万円以上の参加費でないと 企業としては採算が取れそうにもない企画ばかりでした。が、市の補助のお蔭で1/4程度の破格で、満足度は4倍増でした。

どのツアーも、大手の〇〇〇や〇〇ではなく、**地元の小さな旅行代理店**の手作り企画。プランナーの智慧と工夫で、「地元の専門家のガイド」と「市内各地に埋もれている意外な見どころ」を初体験でき、あらためて愛郷心を醸成できる良い旅ばかりでした。今後も是非、行政の支援で実施頂ければと願うばかりです。また、住民以外には「郷土料理」や「体験」や「プロモーション」等で**付加価値を高めれば**、県外観光客やインバウンド層にも 相応の価格で販売できる内容だと確信しました。

【そして、ご近所をさるく毎日が旅かも】

私の住んでいる町は、天文館から徒歩数分、大好きな桜島～錦江湾を望むエリアで、かつては 城下町の商業の中心地でもありました。ふだん歩く近辺の通りやビルの片隅には、ひっそりと様々な石碑や旧跡看板があり、フト足を止めて読んでは、当時に思いを馳せる機会も少なくありません。

思いつく儘に挙げるだけでも、「俊寛の碑」(中町)、「月照上人遺跡の碑」(金生町)、「天文館(明時館)跡の碑」(東千石町)、「石灯籠通の碑」(大黒町)、「川崎正蔵誕生地」(大黒町)、「後醍院真柱出廬之地碑」(千日町)、「西南戦争官軍本営跡」(山下町)、「舊四方限出身名士誕生の碑」(千日町)、さらに、丹下梅子や五代友厚の像など。

また、**昔の風情ある地名・町名**を伝える「旧町名　州崎町の石碑」(住吉町)、「菩薩堂通りの碑」(呉服町)、「旧町名　潮見町の石碑」(泉町)、「納屋馬場の石碑」(中町)、「野菜町通り」の石碑(中町)、「木屋町通りの石碑」(金生町)、「石灯籠」(金生町)、「白地蔵通の石碑」(新町)、「大門口の石碑」(南林寺町)、「寺之馬場石碑」(南林寺町)、「旧町名　築町の碑」(名山町)、「旧町名　六日町の石碑」(名山町)等の説明看板で、失われてしまった情緒ある地名達を味わうことが出来ます。
(例えば、イヅロ通りの語源が石灯籠、ボサド通りの語源が菩薩堂と知らない方も結構多いですね。)

ご近所に佇む「**広馬場通り 戦災鎮魂慰霊の碑**」(堀江町)・「鎮魂の碑」(新町)は、昭和 20 年 6 月 17 日、100 機を超える B29、13 万発以上の焼夷弾で鹿児島市の 93%が焼けた**鹿児島大空襲**を物語る痛ましい記憶が、偶々生き残ったご家族の手によって具体的に刻まれており、通りかかるたびに75年前にこの地で起きた非業な地獄絵を想像しては、平和な時代に生きていることに感謝します。

先の見えないコロナ禍が続く中、公私ともに国内外ともに 辛く大変なことばかりで氣が滅入りそうな時代ですが、逆に、コロナ禍ゆえに新たに得られた体験や視点や価値観の発見(その一例が、今回のマイクロツーリズム)を指折り数えて慈しみながら、太古からの先人達がそうであったように、苦難を乗り越えて前を向いて生きてゆかねば、と思う日々です。

以 上

天文館再開発事業　地上 15 階

令和 3 年 3 月完成予定でしたが令和 4 年春に延期されました。

平成 31 年 2 月（タカプラ跡）

完成予想図

かごっま弁　数選

あれやっめ	食後の茶碗洗い	えじ	意地悪
おぎらをふっ	ほらをふく	がね	蟹・かき揚げ
こそくい	修理	さいも	是非とも
じじらをほっ	小言を言う	じゅい	料理
ちんぐぁらっ	こっぱみじん	てしけくろわん	手がつけられない
ねまっ	腐る	はらがきいわっ	腹が立つ
まぎっ	曲がる	よのいもて	夕暮れ時

あいがともさ(しゃ)げもした　ありがとうございました

わこないやつしろ　あけましておめでとうございます